

「留萌市かずの子条例」を ご存じですか？

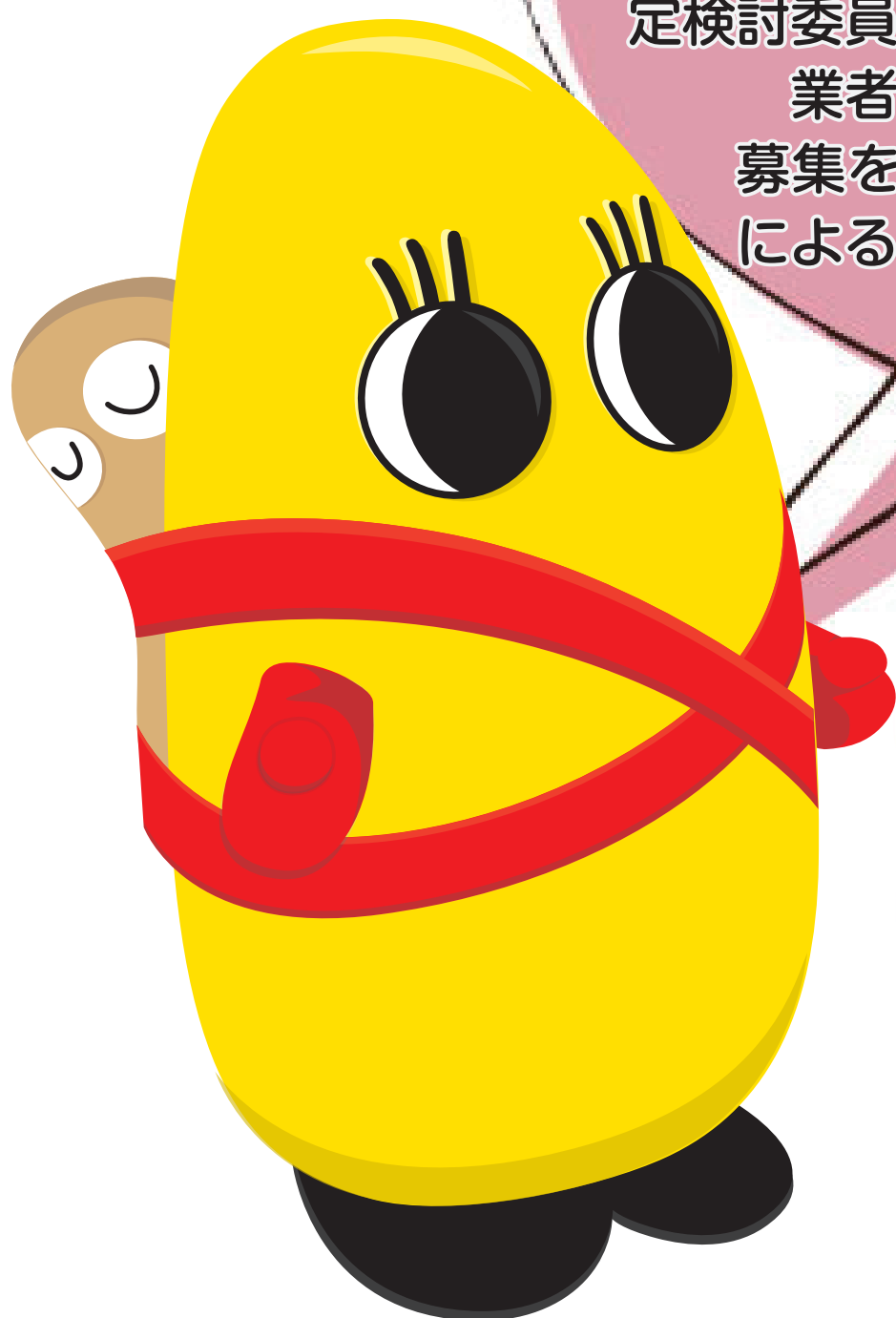
「留萌市かずの子条例」とはかずの子の消費拡大と地産地消の推進、地域経済の活性化、郷土愛の醸成などを目的として、「かずの子条例制定検討委員会」を設置。

業者の皆さんや行政との協議、そして、市民の皆さんからの意見募集を経て、平成28年9月21日の第3回定例会において議員提案による「留萌市かずの子条例」が全会一致で可決しました。

■「かずの子条例」はどんな条例なの？

鯊で栄えた留萌市の伝統的な食文化を大切に考え、名産品であり子孫繁栄の縁起物としても愛される「かずの子」の生産・加工の拡大と消費の普及を基本理念として、学校給食の食材としての利用や国内外への広報活動に努めることなどを定めた留萌市オリジナルの条例です。

「かずの子はお正月」という高級食材のイメージがありますが、普段の食卓にも並ぶような手軽なかずの子料理の開発や普及へのアイデアなどを市民の皆さんとともに考え、留萌市の地場産業の振興と地域内での経済循環への波及効果に地域一体となって努めます。



KAZUMOちゃん

かずの子はニシンの卵で「二親（ニシン）から多くの子が生まれる」と言われたことから、古くから「子宝」「子孫繁栄」を祈るおめでたい食材です。KAZUMO ちゃんは、かずの子をモチーフとしたキャラクターで、かずの子生産量日本一のマチ「留萌」をPRしています。

意見交換会の 結果を公表！

令和元年の意見交換会は令和元年11月20日、るしんふれ愛パーク管理棟を会場に、市民の皆さん30人の参加をいただき、6つのグループに分かれ意見交換を行いました。

意見交換は、テーマに即したご意見を伺い、今後の議会運営の参考とさせていただきます。

いただいたご意見は、種類別に所管常任委員会で協議し、その結果を留萌市議会ホームページ (http://www.e-rumoi.jp/gikai/gik_00042.html) に公表しました。



▲上記のQRコードからご覧いただけます

5月5日は「かずの子の日」

平成27年10月に、北海道水産物加工協同組合連合会によって、「5月5日のこどもの日には、両親（二親＝ニシン）に感謝する日本の食文化を継承していこう」という思いから、「かずの子の日」が制定されました。

留萌市議会では、「塩かずの子加工生産量日本一のマチ」として、皆さんにもっと「留萌のかずの子」を知っていただくことを目的とし、「かずの子のマチ留萌」フェスタに協力しています。



【皆さんへのお知らせ】

令和2年5月5日開催の「かずの子のマチ留萌」フェスタは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止することになりました。

住んでよかった
これからも住み続けたい
まちづくりを

No.
109
令和2年
4・5月号

議会 かわら版

4月の議会動向

●9日(木) 留萌市議会 危機対策会議

市が設置する「新型コロナウイルス感染症対策本部」の報告を受け、市議会全体で4月8日までの現状の把握と情報の共有を行いました。

●14日(火) 議会広報広聴 常任委員会

●16日(木) 第2常任委員会

●22日(水) 第1常任委員会

留萌市議会では、一般質問の様子をラジオやインターネットを活用し放送・配信しています。



留萌市議会
YouTube